

# 肝肝疾患対策推進計画の推進イメージ

## 静岡県肝疾患対策推進計画 2024～2029年度

### 目的 肝疾患から肝硬変や肝がんになる県民を減らす

指標	肝がん罹患率(人口10万人当たり)を低減する 2019年:10.9 → 2025年:〇〇	肝疾患死亡率(人口10万人当たり)を低減する 2022年:〇〇 → 2028年:〇〇	ウイルス性肝炎の死亡数を削減する 2021年:57人 → 2027年:〇人
----	---	---	--

五本柱	1 肝炎に関する正しい知識の普及と新規感染予防の推進	2 肝炎ウイルス検査の受検勧奨と検査陽性者に対する受診勧奨	3 肝炎医療を提供する体制の確保	4 肝炎患者等及びその家族に対する支援の充実	5 非ウイルス性肝炎患者に対する支援
対策の方向性	肝炎の病態や感染経路等に関する県民の理解を深めることで、肝炎に関する偏見や差別を解消するとともに、新規の感染を予防する。	県民が肝炎ウイルス検査の必要性を自覚し、生涯に一度は検査を受検するよう勧奨するとともに、検査陽性者の定期的、継続的な受診に向けたフォローアップを行う。	肝炎患者等が、身近な医療機関で適切な医療を継続して受けられる体制を確保する。	肝炎患者等及びその家族の経済的負担や不安を軽減できるような支援する。	アルコール健康障害や生活習慣病予防対策の普及啓発を行い、生活習慣に基づく肝疾患の防止を図る。
数値目標	最近1年間に差別の経験をした肝炎患者数を毎年度〇人にする。 B型肝炎ウイルスの予防接種の接種率を90%以上にする。	肝炎ウイルス検査の受検者をB型・C型それぞれ〇人以上にする。 肝炎ウイルス検査陽性者の受診率を90%以上にする。	肝疾患かかりつけ医研修受講率を90%以上にする。 活動できる肝炎医療コーディネーターを〇人以上養成し、維持する。	肝炎患者を患うことによる悩みや困り事の相談先がない肝炎患者の割合を10%以下にする。	継続検討 委員の御意見を頂きたい。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講演会等の開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般県民や患者・家族向けの講演会の実施</li> </ul> </li> <li>●ハイリスク者への予防啓発                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳に至るまでの幼児に対するB型肝炎ワクチンの定期接種の勧奨</li> <li>・中学、高校における思春期講座等の機会を活用した感染予防のための知識の普及</li> </ul> </li> <li>●職域における普及・啓発活動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用主・従業員に対する肝炎に対する知識の普及・啓発活動の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肝炎ウイルス検査の受検勧奨                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎ウイルス検査を周知するための広報等の実施</li> <li>・協会けんぽ等と連携した職域における受検勧奨</li> <li>・肝炎医療コーディネーターの活用による啓発</li> </ul> </li> <li>●肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査陽性者に対する受診勧奨や初回精密検査費用助成によるフォローアップの実施</li> <li>・協会けんぽ等と連携した職域における受診勧奨</li> <li>・肝炎医療コーディネーターの活用による啓発</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肝炎医療連携体制の拡充                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝疾患かかりつけ医の周知及びかかりつけ医研修の開催</li> <li>・肝臓病手帳を活用した肝疾患かかりつけ医と拠点病院の連携促進</li> </ul> </li> <li>●肝炎医療コーディネーターをはじめとする肝炎医療に携わる人材の育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎医療コーディネーター養成研修を開催し、受講者を肝炎医療コーディネーターに認定</li> <li>・肝炎医療コーディネーターの技能向上のための継続的な研修会・情報交換会の開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肝炎医療費助成の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎患者の経済的負担の軽減</li> </ul> </li> <li>●肝炎患者等及びその家族に対する相談支援の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝疾患相談支援センターや保健所等における肝炎医療コーディネーターによる相談支援</li> <li>・保健所における患者家族のための相談会・交流会の開催</li> <li>・肝炎医療コーディネーターによる仕事と治療の両立支援や患者会活動の紹介</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講演会の開催</li> <li>●差別意識の解消</li> <li>●治療意欲の改善 等</li> </ul>

# 非ウイルス性肝炎に関する指標の検討について

- 柱5に対応する非ウイルス性肝炎対策の指標を庁内関係課と協議し、検討。
- 以下指標を検討したが、毎年度の追跡が困難であるため、案掲載は見送った。
- 成果指標として、非ウイルス性患者の数など他の設定も継続して検討する。

生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者（1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少  
 純アルコール料20g目安：ビール（5%）中瓶1本、日本酒（15%）1合

## ＜県：第3次ふじのくに健康増進計画＞2014年度から2022年度まで

2013年度 策定時	2017年度 現状値	2022年度 目標値	出典
男性 14.0% 女性 6.5% (2013年調査)	男性 11.9% 女性 8.3% (2016年調査)	男性 10%以下 女性 6.4%以下 (2023年6月※)	県民健康基礎調査（5年毎） H10以前は3年毎

## ＜国：健康日本21＞2013年度から2022年度まで

2010年度 策定時	2019年度 現状値	2022年度 目標値	出典
男性 15.3% 女性 7.5%	男性 14.9% 女性 9.1%	男性 13%以下 女性 6.4%以下	国民健康・栄養調査 (毎年※)